

# 個別施設計画

策定年月 R3.1

施設名	備前緑陽高等学校			所在地	備前市西片上91-1		
敷地面積	37,845.57 m <sup>2</sup>			棟数	43 棟 (計画記載対象 16 棟)		
延床面積	13,187.63 m <sup>2</sup>				※対象は200m <sup>2</sup> 以上の建物(車庫、倉庫等は500m <sup>2</sup> 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため						
<b>【想定される自然災害】</b>							
予想震度 6弱		津波 —			浸水 —		
建築規制	非線引都市計画区域、第一種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2019年度)	電気	ガス	水道	燃料 (灯油)			
	266,657 kWh	1,171 m <sup>3</sup>	2,509 m <sup>3</sup>	3,464 ℓ			
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 備前市指定緊急避難場所・指定避難所(津波・洪水・地震)						

## 1 施設内建物の概況

名 称	理科特別教室棟(40棟)19-6	特別教室棟(58棟)19-7,8	普通教室棟(56棟)21-1	
築年(西暦)	1965 年	1968 年	1967 年	
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 3 階	
建築面積	198.56 m <sup>2</sup>	273.18 m <sup>2</sup>	251.11 m <sup>2</sup>	
延床面積	595.69 m <sup>2</sup>	819.54 m <sup>2</sup>	750.50 m <sup>2</sup>	
主要な用途 (室名等)	化学教室 視聴覚教室	生物教室 地歴教室	普通教室	
主要な設備 (屋外を含む)				
利用状況	中	中	中	
耐震性 ※1	有	有	有	
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適	不適
	中性化 ※3	適	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜がある場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	普通教室棟(88棟)21-3	特別教室棟(59棟)23-1	管理教室棟(60棟)23-2
築年(西暦)	1974年	1970年	1971年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	93.00 m <sup>2</sup>	182.89 m <sup>2</sup>	196.56 m <sup>2</sup>
延床面積	279.00 m <sup>2</sup>	548.67 m <sup>2</sup>	589.68 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	普通教室	美術教室 音楽教室 書道教室	普通教室 トレーニングルーム
主要な設備 (屋外を含む)			
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	不適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果 $I_s$ 値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	普通教室棟(64棟)23-3	本館(65棟)23-4	窯業科実習室棟(61棟)25
築年(西暦)	1972年	1974年	1971年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	172.67 m <sup>2</sup>	195.83 m <sup>2</sup>	331.24 m <sup>2</sup>
延床面積	552.28 m <sup>2</sup>	656.47 m <sup>2</sup>	662.48 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	普通教室 保健室	事務室 LL教室	セラミック材料実習室 職員室
主要な設備 (屋外を含む)			
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果 $I_s$ 値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	焼成実習室棟(75棟)30	窯業科実習棟(77棟)31	産業教育実習棟(81-2棟)33-1,3
築年(西暦)	1987年	1989年	1994年
構造	鉄骨造 1階	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	278.09 m <sup>2</sup>	281.19 m <sup>2</sup>	754.37 m <sup>2</sup>
延床面積	278.09 m <sup>2</sup>	562.38 m <sup>2</sup>	1754.30 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	焼成実習室	工芸実習室 機器分析実習室	機械加工実習室 被服実習室 福祉介護実習室
主要な設備 (屋外を含む)			空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq$ 0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	武道場(86棟)34	体育館(90棟)35	産業教育実習棟(92棟)36
築年(西暦)	2001年	2003年	2003年
構造	鉄骨造 2階	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	451.15 m <sup>2</sup>	1225.29 m <sup>2</sup>	541.82 m <sup>2</sup>
延床面積	504.20 m <sup>2</sup>	1416.95 m <sup>2</sup>	1246.80 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	武道場	体育館	溶接塑性加工実習室 電子電気基礎実習室 工業基礎実習室
主要な設備 (屋外を含む)		空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	記念館(84棟)40	
築年(西暦)	1997 年	
構 造	鉄骨 造 2 階	
建築面積	193.83 m <sup>2</sup>	
延床面積	387.66 m <sup>2</sup>	
主要な用途 (室名等)	食堂 会議室	
主要な設備 (屋外を含む)		
利用状況	中	
耐震性 ※1	有	
躯体(コンクリート) の健全性 <small>※耐震診断済のみ</small>	圧縮強度 ※2	
	中性化 ※3	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

## 2. 対応方針

### (1) 施設全体の方針

予防保全を図りながら、使用を継続する。

### (2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
理科特別教室棟(40棟)19-6	予防保全を図る。
特別教室棟(58棟)19-7,8	予防保全を図る。
普通教室棟(56棟)21-1	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)
普通教室棟(88棟)21-3	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)
特別教室棟(59棟)23-1	予防保全を図る。
管理教室棟(60棟)23-2	予防保全を図る。
普通教室棟(64棟)23-3	予防保全を図る。
本館(65棟)23-4	予防保全を図る。
窯業科実習室棟(61棟)25	予防保全を図る。
焼成実習室棟(75棟)30	予防保全を図る。
窯業科実習棟(77棟)31	予防保全を図る。
産業教育実習棟(81-2棟)33-1,3	予防保全を図る。
武道場(86棟)34	予防保全を図る。
体育館(90棟)35	予防保全を図る。
産業教育実習棟(92棟)36	予防保全を図る。
記念館(84棟)40	予防保全を図る。

### 3. 施設全体のスケジュール

#### (概要)

予防保全を図る。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
理科特別教室棟(40棟)19-6	予防保全				予防保全を図る。						
特別教室棟(58棟)19-7,8	予防保全				予防保全を図る。						
普通教室棟(56棟)21-1	予防保全				予防保全を図る。						
普通教室棟(88棟)21-3	予防保全				予防保全を図る。						
特別教室棟(59棟)23-1	予防保全				予防保全を図る。						
管理教室棟(60棟)23-2	予防保全				予防保全を図る。						
普通教室棟(64棟)23-3	予防保全				予防保全を図る。						
本館(65棟)23-4	予防保全				予防保全を図る。						
窯業科実習室棟(61棟)25	予防保全				予防保全を図る。						
焼成実習室棟(75棟)30	予防保全				予防保全を図る。						
窯業科実習棟(77棟)31	予防保全				予防保全を図る。						
産業教育実習棟(81-2棟)33-1,3	予防保全				予防保全を図る。						



区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
武道場(86棟) 34	予防保全				予防保全を図る。						
体育館(90棟) 35	予防保全				予防保全を図る。						
産業教育実習 棟(92棟)36	予防保全				予防保全を図る。						
記念館(84棟) 40	予防保全				予防保全を図る。						

#### 4. 概算費用

--